

令和5年度事業報告書概要（若洲海浜公園）
 指定管理者：若洲シーサイドパークグループ

1 管理状況

○ 適切な管理の履行

【ゴルフリンクス】

・清掃、消毒の徹底

総合管理センター周辺やトイレ等の清掃を基準を上回る回数実施しました。また、清掃状況について部署間で評価を行い、改善方法を協議して運営へ反映することでさらなる美観向上を図りました。

・コース管理作業

視覚面で安全な打ち出し方向へ構えられるようフェアウェイの刈込ラインを変更したり、ホール間の植樹、キャディによる声掛けなど、ゴルフ場外や隣接ホールへの飛球防止を徹底して行い、ゴルフ利用者とあわせて園地利用者も安全安心に快適な利用ができる環境を提供しました。

・良好なコースコンディションの維持

特殊カメラ搭載のドローンによる芝の科学的分析だけでなく、土壌も科学的調査を行い、的確な施肥等を行うことで、化学農薬の使用等をできるだけ減らし生態環境や自然環境への負荷を低減しつつ芝の生育抵抗力を向上させ、良好なコンディションを維持しました。また、吸排気システムやGPS搭載無人芝刈り機、国内で希少な機械「ロトナイフ」など先進的な機材を活用するとともに、スタッフによる芝の修復作業も回数を増やして行い、常に高いコースクオリティを維持し利用者から高評価を得ました。



<先進機器やスタッフによるコース管理>

【海釣り施設・関連園地】

・利用者マナーの啓発活動

サイクリングロードにおいては、事故が起こりやすい場所への看板や反射ステッカーの設置、HPなどによる注意喚起や声掛け、都や自転車関連団体との対策協議など、適正利用へ向けマナー啓発と事故対策を進めました。また海釣り施設においても立入禁止看板等の刷新や巡回時の粘り強い声掛け、園内放送やイベント時のマナー啓発活動など、利用者の安全を確保し快適な利用環境の形成を図りました。



<マナー啓発・注意喚起>

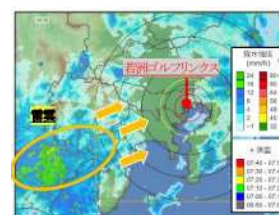
○ 安全性の確保

・緊急時対応

急な天候異変に備え、気象予報士との連携、最新の落雷情報システムの活用、カート掲載のナビ画面への注意喚起表示などを行い、また時間帯により異なる利用者の動向を踏まえたシミュレーションを実施するなどにより、急な雷雨時に適切な避難誘導を行いました。



気象予報士との随時連携



最新落雷情報システムの活用

2 事業効果

○ 事業の取組

【ゴルフリンクス】

・スマート라운드의導入

独自のスマホ専用アプリを導入し、24時間空き状況をリアルタイムで確認して予約、自動チェックイン機でQRコードによりチェックイン、キャッシュレス対応の自動精算機により精算ができるようになるなど、予約から精算までスムーズに行うことができる利便性の高い利用環境を提供しました。

また、GPSナビ付乗用カートを導入したことで、利用者がコース情報や前後の組との間隔を確認でき、打ち込み防止や利便性向上につながりました。またマスター室で全組の位置情報を把握でき、適切なプレーサポートや緊急時の速やかな避難誘導など、利用者の快適性向上と安全の確保を実現しました。



若洲ゴルフリンクス独自アプリ



GPSナビによってコース情報や正確な位置情報を常時把握



GPSナビによって、マスター室でコース内全組の位置情報を把握

【海釣り施設・関連園地】

・様々なイベント開催

手軽に楽しめるアウトドアとして釣り利用者が増加していることから、ニーズに合わせて女性、親子、初心者、ファミリーなど様々な方を対象とした釣り教室を開催し、インストラクターが分かりやすく丁寧に指導することで、釣りの魅力を広めることができました。また、隣接する江東区立若洲公園と連携して釣りとバーベキューを融合したアウトドアフィッシングスクールも開催し、釣りだけでなく魚のさばき方や火起こし体験など、参加者から大好評のイベントとなりました。



釣り教室



魚のさばき方教室



火起こし実演会



バーベキュー

・積極的な情報発信

釣り施設の釣果情報や釣り場の混雑状況、利用マナーなど、釣り施設の情報を積極的にSNSで発信し釣りの振興に努め、Xでは前年度より千人以上増加しフォロワー数11,263人となりました。また、新たにInstagramを開設し、告知だけでなくリアルタイムのイベント実況なども発信しました。さらにサイクリングを通じた健康増進や余暇の充実を図るため、自転車の目線で見える公園の見どころや園内の季節の草花、対岸に見えるテーマパークや富士山など、サイクリングロードを巡る動画を配信し、公園の魅力を発信しました。

○ 利用の状況

荒天や酷暑の影響もあり釣り施設は前年度を下回りましたが、ゴルフリンクスはゴルフ場・練習場ともに平成18年度以降過去最高の利用者数となり、公園全体としては前年度から利用者数が増加しました。

○ 行政目的の達成

・東京都施工工事への協力

経年劣化や近年の気温上昇に伴う散水量の増加、地盤沈下などによる漏水の発生に伴う散水設備工事の設計において、節水や省エネなど環境に配慮した設備を前提とした調整を行うなど協力しました。

3 収支状況（単位：千円）		
項 目		金 額（税 込）
収 入 計		813,094
内 訳	指 定 管 理 料	0
	利 用 料 金	813,094
支 出 計		534,208
納 付 金		249,424
収 支 差		29,462

※ 単位未満を四捨五入しているため、合計と一致しない場合があります。